

【別紙 1】NEC 神戸データセンター一期棟、二期棟共通の特長

1. 柔軟で効率的なハイブリッドクラウド対応

- ・クラウドとハウジング環境間の LAN(レイヤー 2 接続)での高速接続や他社クラウドとの閉域網接続などにより、柔軟なハイブリッド環境を構築可能
- ・クラウド、ハウジング、オンプレミス含め、様々な環境の一元的な運用管理を実現
- ・NEC データセンター間ネットワークを介したデータセンター間での DR 環境構築や、クラウドやオンプレミス等に配備された本番環境のバックアップ環境としての利用が可能

2. ファシリティやセキュリティ強化により「安全・安心」を追求

- ・建物は、兵庫県神戸市の堅牢な地盤上にあり、耐震性に優れた免震構造を採用
- ・非常時の給油ルートも確保しやすい立地と 72 時間無給油運転可能な電源設備により、地震、水害、停電、ネットワーク障害などへの優れた耐災害性と安定稼働を実現
- ・セキュリティ対策では、世界 No.1 の認証精度を有する顔認証技術を用いて、カメラを意識することなくスムーズに入退場が可能な顔認証システムを採用し入室にかかる時間を約 50% 短縮
- ・外周部分に対しては監視カメラと行動検知システムを組み合わせることにより、従来の赤外線センサーだけでは困難であった、人物による不審な挙動を自動検知し、事故（インシデント）発生を未然に防止

3. 徹底的な効率化によりコストパフォーマンスを追求

- ・総合的な省エネルギー化により PUE は西日本トップクラスの 1.18(設計値)を実現
- ・クラウドサーバルームには、気化熱の原理を応用した NEC の冷却技術「相変化冷却ユニット」を壁一面に適用、他の空調方式の改善と合わせて冷却効率を最大 40% 向上
- ・外気を利用したフリークーリング、太陽光発電、蓄電システム、地下冷気活用など自然エネルギーも積極的に活用